

東大阪中央ロータリークラブ

創立 昭和47年2月20日
 例会日 毎週月曜日 12:30~
 例会場所 シェラトン都ホテル大阪
 事務所 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-38
 〒543-0027 ロイヤルパークス桃坂1112号
 TEL. 06(6772)2320
 FAX. 06(6772)2327
 E-mail:hcrc@at.wakwak.com



会長 岩崎 史郎
 会長エレクト 鈴木 勝俊
 副会長 細川 勝治
 幹事 岡田 忠彦
 会報委員長 金子 勝信

Peace Through Service 奉仕を通じて平和を

2012~2013年度 国際ロータリー会長 田中 作次

第1885回例会 平成25年4月1日(月曜日) 第30号

本日の例会

4月1日(月) 第1例会

- ◎ソング 「それでこそロータリー」
- ◎会員増強テーブルミーティング
- ◎本日の献立 軽食ワンプレート

次回の例会

4月6日(土) 第2例会

- ◎移動例会 シェラトン都ホテル大阪
12:30~ 3階 金剛の間
- ◎インターシティーミーティング
13:30~ 4階 浪速の間
- ◎懇親会 16:00~ 4階 浪速の間
- ◎本日の献立 松花堂弁当
- ※4月8日(月)は上記による振替休会

前回の記録

3月25日(月) 第3例会

- ◎ビジター 奈良RC 宮崎彰夫様
大阪東RC 西村貞一様
- ◎ゲストスピーカー
日本国際飢餓対策機構 吉田知基様

会長挨拶

会長 岩崎史郎

3月は、識字率向上月間です。識字率向上は1986年以来国際ロータリーの強調事項です。地域社会で、読み書きを向上させるプロジェクトを支援します。地域の識字水準が、その地域の生活水準に直結するという観点から、この月間中に読み書きや、計算の出来ない人たちを援助するために、ロータリー地域社会共同体、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、世界社会奉仕、ロータリーボランティア、その他の既存のプログラムを通じて、識字率向上に取り組んでいます。今回国際ロータリーは、世界的な識

字推進団体国際読書協会と協力しあい、世界的な識字推進を目指す社会奉仕プロジェクトを開発中です。

先々週の13日、木村会員が入院する、育和会記念病院にお見舞いに行き参りました。胃を全摘すると言う大変な手術を終えたとは思えない程、顔色もよく非常に元気でした。今月中にも退院されるとの事で大変喜ばしいことです。

大熊会員のお見舞いにお伺いする為に連絡していましたが、やっと奥様と連絡が取れました。奥様の話では、骨折して施設に入って居るとのことで、本人がお見舞いはご遠慮願いたいとの意向である旨をお伺いしていますので、ここでご報告しておきます。

当クラブのチャーターメンバーで在ります黒田会員が(大正12年生まれ、90歳)ご逝去されました。葬儀は3月6日家族葬で執り行われました。先日岡田幹事と一緒に伺いし、お嬢さんの案内で、お線香をあげてまいりました。

3月14日第3回情報集会在藤原委員長の下、開催されました。テーマは周年記念事業の思い出と言う事で大先輩から色々なお話をお伺いする事が出来、大変有意義な情報集会に成りました。藤原委員長を初め参加頂いた会員の皆様有難う御座いました。又、今年米寿をお迎えに成られました瀧田会員、坪倉会員、誠におめでとう御座います。これからも益々、お元気で青春を楽しんで頂きたいと思ひます。

幹事報告

副幹事 金子勝信

1. 次週4月1日(月)例会終了後、第10回定例理事役員会を開催致します。理事役員の皆様には、宜しくお願ひ致します。
2. 次年度 理事役員及び委員会名簿をポストに配布しておりますので、ご確認をお願ひ致します。
3. 他クラブ例会変更及び休会の案内を掲示板に掲示しています。

出席報告

本日の会員数	尾崎委員	33名
本日の出席者数		23名
本日の出席規定適用免除会員		10名
本日の出席率		79.3%
2月25日の修正出席率		90.0%

SAAニコニコ箱報告

清水副SAA

瀧田会員 3月14日の情報集会で米寿のお祝いを頂き有り難うございました。長生きはするものです。本日の卓話当番で国際飢餓対策機構の吉田様に卓話をして頂ける事に感謝!!

坪倉会員 八十八を祝って頂いて!

松岡会員 春爛漫、4月11日を楽しく過ごせますように。

岩橋会員 国際飢餓対策機構の活動を紹介させて頂き有り難うございます。

委員会報告

親睦活動委員会

委員長 松岡 武

4月11日の春の家族会についての説明を致します。当日は天候の事もあり、桜が平年より7~10日早く咲きそうですので、現地は全部散っている可能性もあります。その為に行事予定の運行変更も予定してあります。期待を小さくお願い致します。

当日はAM8:00、シェラトン都ホテル大阪1Fロビー集合で大型バスにて京都へ行きます。雨風の時は嵐山のバス駐車場よりタクシーか徒歩になります。尚、好天の時は人力車を5台チャーター可能です。道中のバス中にて予約くださいれば準備します。

それと吉兆は和食ですので座布団になりますが、高座椅子を10人分だけ先方より用意して頂きました。それも併せてお申し出下さい。当日は天候に恵まれますように。

卓話

「ハンガーゼロの世界を目指して」

吉田知基様

2011年3月11日、東日本大震災から2年が経過しました。死者行方不明者の数は18,574人(2013年2月現在)。街が消えて、家を失い、家族を亡くし、多くの人が深い悲しみを経験しました。先月2月中旬に私は数ヶ月ぶりに被災地入りし、数人の被災者の方にお話を伺う機会がありました。その中には家をリフォームし、仮設住宅から引っ越され、ようやく一息ついたと笑顔で話して下さった方、一方で、いまだに悲しみが癒えず、失ったものを思い、涙を流された方がいました。同じ2年でも被災された人にとって異なる時間がそれぞれに流れ、様々な思いや葛藤が詰まった2年であったのではないかと感じました。しかし、被災者の方の話を伺っていて共通していたことがありました。それは「人と人とのつながり」が何よりも力となったということです。ボランティアの人との出会い、全国からのたくさ

んの応援を通じて、これまでになかった多くのつながりが生まれました。その「つながり」があったからこそここまでがんばれたと語って下さいました。東大阪中央ロータリーの皆さんも東北の方々とつながって下さり、ご支援して下さったことにより、多くの被災者が励まされ、前に向かって歩み出す勇気が与えられました。本当に感謝申し上げます。

現在、世界の飢餓人口は8億7000万人(2012年10月国連発表)。近年の経済発展によりアジア、中南米の飢餓人口は大幅に減少しました。しかしながら、アフリカは飢餓人口の増加傾向にあり、過去4年間で約2000万人増えています。日本国際飢餓対策機構は、世界から飢餓をなくすために、まずこのアフリカの飢餓現状を打開すべく、ハンガーゼロアフリカを掲げ、現地で様々な活動に取り組んでいます。自然災害や干ばつなどが発生した際の緊急的な食糧支援や学校に通う子どもたちの給食支援、また人々が自立して生活していけるように持続可能な農地開発の協力も支援しています。

また物質的な必要による「からだの飢餓」に 대응だけでなく、「こころの飢餓」撲滅にも注力しています。アフリカだけでなく、アジアや中南米の人々においても、深刻な貧困を目の前にした時、「貧しいから何をしても無駄」「食べる者がいないから支援に頼るしかない」という運命論に陥ってしまうことがあります。私たちの目指すハンガーゼロ(飢餓のない世界)は単に人の外側・物質的な面を改善することではありません。人の内側が変わっていかねば真の飢餓問題解決にはならないと確信しています。そのために、子どもたちの教育支援や村のリーダーたちを対象とした心の変革を促すセミナーの開催などを実施しています。人が育ち、その人が村を変えていくことで地域社会全体に影響が広がっていくのです。

2年前の震災で、多くのつながりによって、助けられ励まされ救われた人がいました。世界にもそのつながり、助けを待っている人々がまだまだたくさんおられます。世界のこころとからだの飢餓撲滅のために、これからもそのような方々とつながり続けていただけたら感謝です。

[吉田知基様プロフィール]

1986年(昭和61年)8月6日生まれ。埼玉県出身で、その後名古屋、三重と移り住む。

中京大学を卒業後2010年4月より、日本国際飢餓対策機構に就職。国内事業部広報担当スタッフとして、毎月の飢餓対策ニュースの発行、飢餓の啓発のためのパネルや視覚教材の管理、ホームページ更新などを担当している。

大学生の時に約1年間フィリピンのケソンシティ、パヤタスにあるプレイズエメラルド国際学校で、日本語教師のボランティアをするなど、早くから海外に目を向けて行動してきた。

また、一昨年(2011年)の東北大震災の後、約10ヶ月仙台に住んで、復興のための支援活動に従事した。東大阪中央ロータリークラブ40周年記念の際のプレゼンテーションを作成した。